

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年11月28日	使用開始日	
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西宗治
レジメン名	フェスゴIN【初回】(併用ケモ中止時)初発		
疾患名	乳がん(HER2陽性)	適応の備考	HER2陽性の術前術後補助化学療法
適応分類	術前術後補助化学療法		フェスゴ(ベルツズマブ、トラスツズマブ)および化学療法併用で化学療法が終了・中止された場合に使用
1コース日数	21 日間	総コース数	併用ケモ開始から術前術後合計1年 コース 催吐性リスク 軽度
抗がん剤投与量・投与日	フェスゴIN day1		

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)		(day)																							
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	なし 皮下注射	フェスゴ配合皮下注【IN】	15 mL / body		●																				
	調製後4時間以内に使用 8分以上かけて皮下投与																								

【投与上の注意】

このレジメンは、フェスゴ(ベルツズマブ、トラスツズマブ)初回投与患者に使用する。(ただし、予定された投与が遅れた場合で、以下の条件にあてはまる場合も使用可)

フェスゴ皮下注: 何らかの理由により予定された投与が遅れた場合には、以下のとおり投与することが望ましい。

①前回投与日から6週間未満のとき: 維持投与量(フェスゴ MA)を投与する。

②前回投与日から6週間以上のときには、改めて初回投与量(フェスゴ IN)を投与し、次回以降は維持投与量(フェスゴ MA)を3週間間隔で投与する。

フェスゴ皮下注: 初回投与時は、8分以上かけて大腿部に皮下投与、2回目以降は、5分以上かけて大腿部に皮下投与する。

フェスゴ皮下注: 大腿部以外への投与は避ける。

フェスゴ皮下注: 注射部位反応が報告されているため、同一箇所へ繰り返し注射することは避け、左右の大腿部に交互に投与する等、前回の注射部位から少なくとも2.5cm離す。

フェスゴ皮下注: 皮膚が敏感な部位、皮膚に異常のある部位(傷、発疹、発赤、硬結等)には注射しないこと。

フェスゴ皮下注: 初回投与時は30分の経過観察、2サイクル目以降は、Infusion reaction等の問題がなく、忍容性が良好であれば、観察時間は15分まで短縮可

・ パーージェタ+トラスツズマブ(IV)からフェスゴに切り替える場合

パーージェタ+トラスツズマブ(IV)の直近の投与日から6週間未満のときにはフェスゴMA(維持投与量)を、6週間以上のときにはフェスゴIN(初回投与量)を投与し、その後は3週間毎にMA(維持投与量)を投与する。

・ フェスゴからパーージェタ+トラスツズマブ(IV)に切り替える場合

フェスゴの直近の投与日から6週間未満のときにはパーージェタ、トラスツズマブともに維持投与量(パーージェタ:420mg、トラスツズマブ:6mg/kg)を、6週間以上のときにはパーージェタ、トラスツズマブともに初回投与量(パーージェタ:840mg、トラスツズマブ:8mg/kg)を投与し、その後3週間毎に維持投与量を投与する。